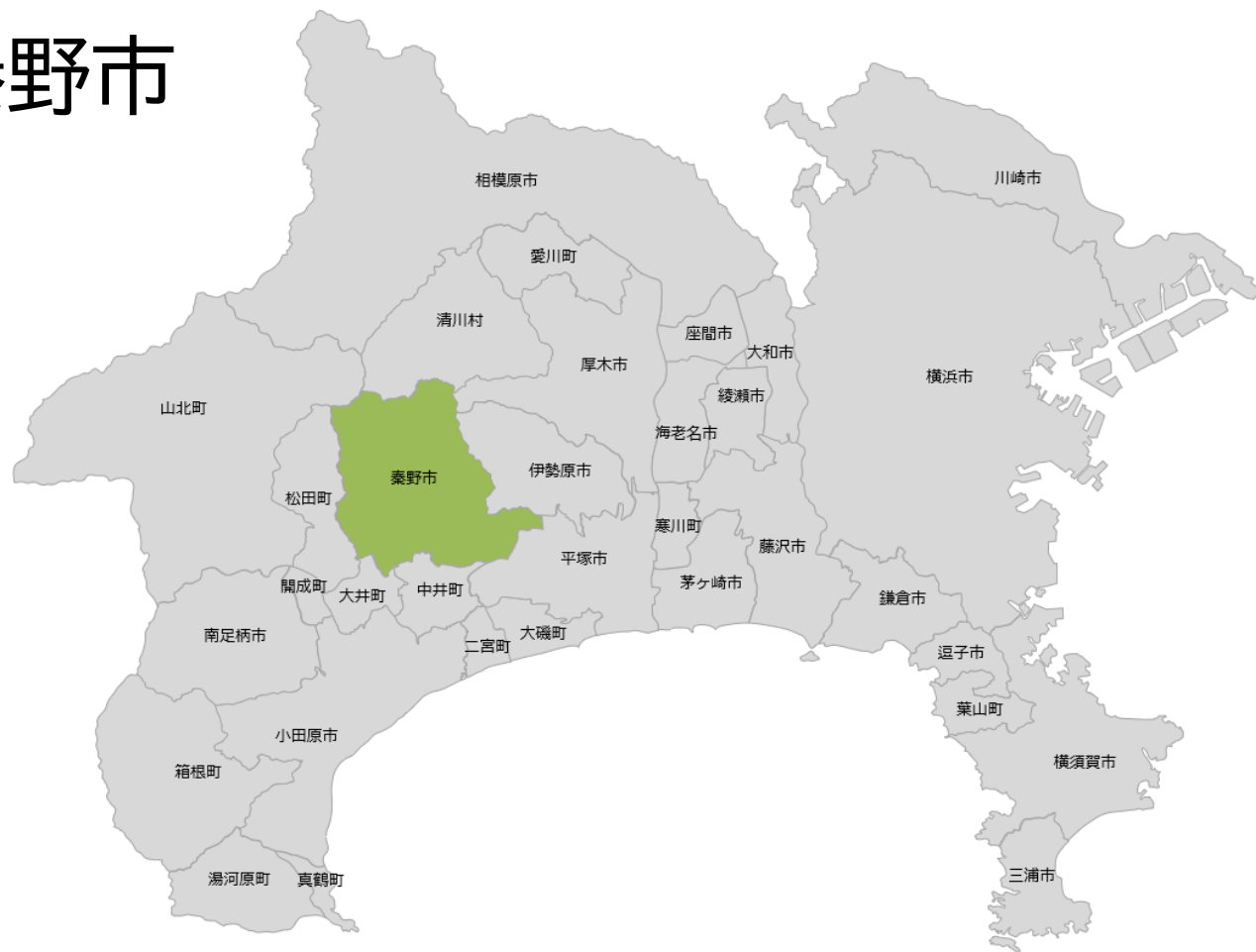


秦野市に関する基礎情報

第二回脱炭素はだの市民会議
2025年9月6日(土)

脱炭素はだの市民会議実行委員
大塚彩美

秦野市



市域：東西約 13.6 キロメートル、南北は約 12.8 キロメートル

面積：103.61 平方 キロメートル(県内 19 市中 5 番目)

全域が都市計画区域(※1)

東京からは約60キロメートル、横浜から約37キロメートル

周辺：北方には神奈川県屋根と呼ばれている丹沢山塊が連なり、
南方には渋沢丘陵が東西に走る ➡ 県下で唯一の盆地を形成



この資料の見方・使い方

【含まれている情報】

- 人口：推移と将来推計、人口構成、転出入の傾向、地区別高齢化率、昼夜間人口 など
- 地勢：地形と土地利用、人口集中地域の変遷など
- 交通・移動：インフラの状況、交通分担率、コミュニティバスの情報など
- 住まいと建築：所有形態、建築形態、延床面積、建築年情報など
- エネルギー需給：エネルギーフロー、再エネポテンシャルなど
- 食や消費に関する情報：小売りの拠点、地場産物の販売拠点など
- 1次産業の状況：農作物の種類と売り上げ、農家数など
- ごみ処理の状況と削減策
- 観光に関する要素

これらの情報・要素がどのように脱炭素に関わっているか

脱炭素/カーボンニュートラルを考える際のチャンスや課題要素

かやこうとうしき
【茅恒等式】
といいます

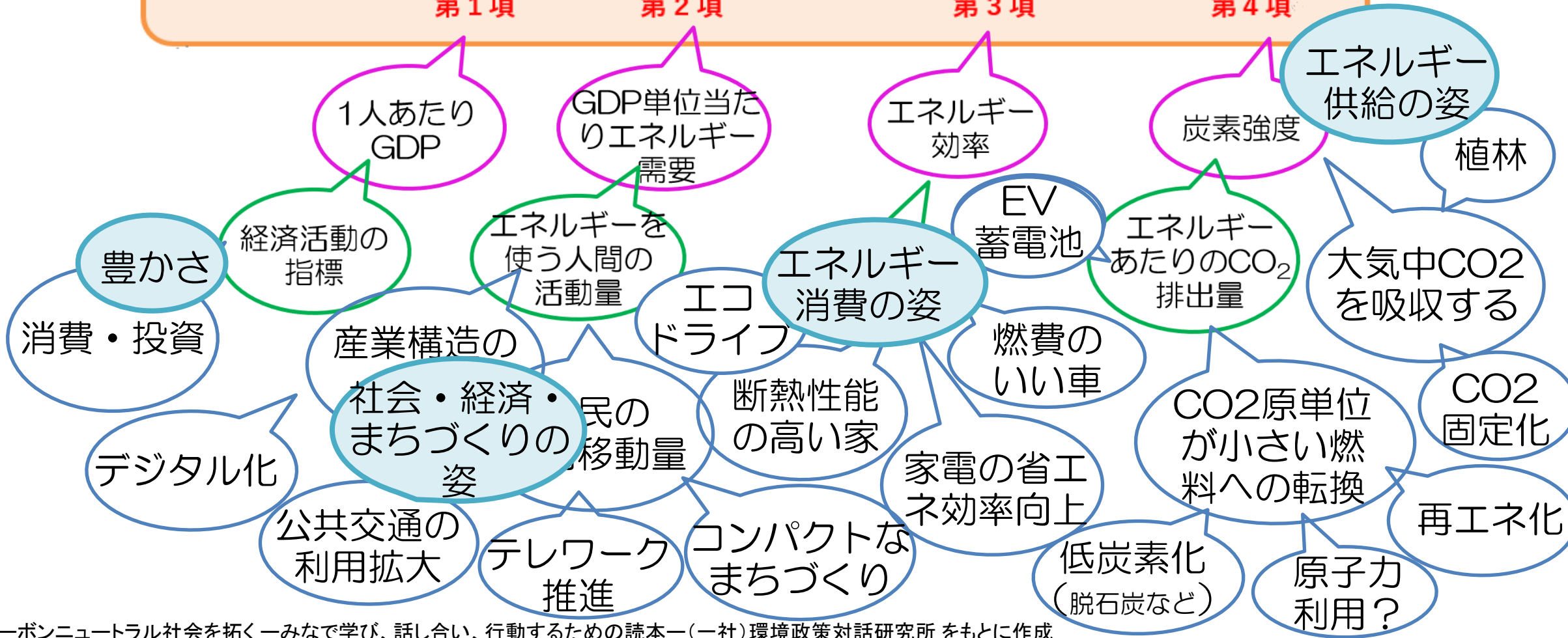
$$\text{CO}_2 \text{ 排出量} = \text{人口} \times \frac{\text{GDP}}{\text{人口}} \times \frac{\text{エネルギーサービス需要}}{\text{GDP}} \times \frac{\text{エネルギー量}}{\text{エネルギーサービス需要}} \times \frac{\text{CO}_2 \text{ 排出量}}{\text{エネルギー量}}$$

第1項

第2項

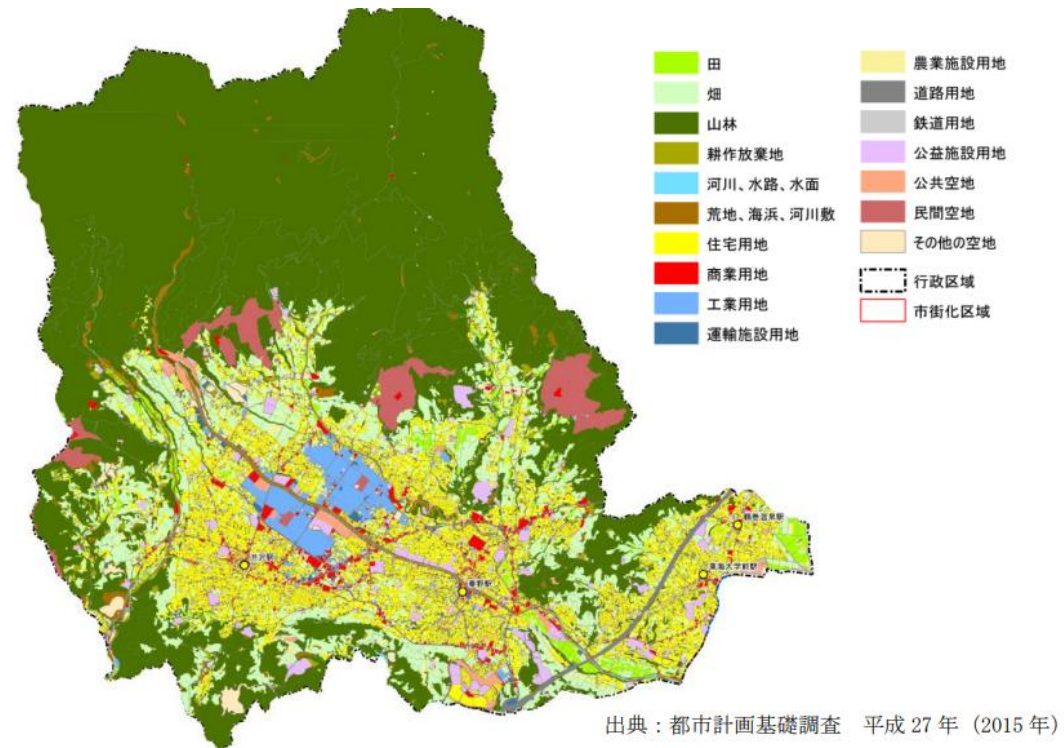
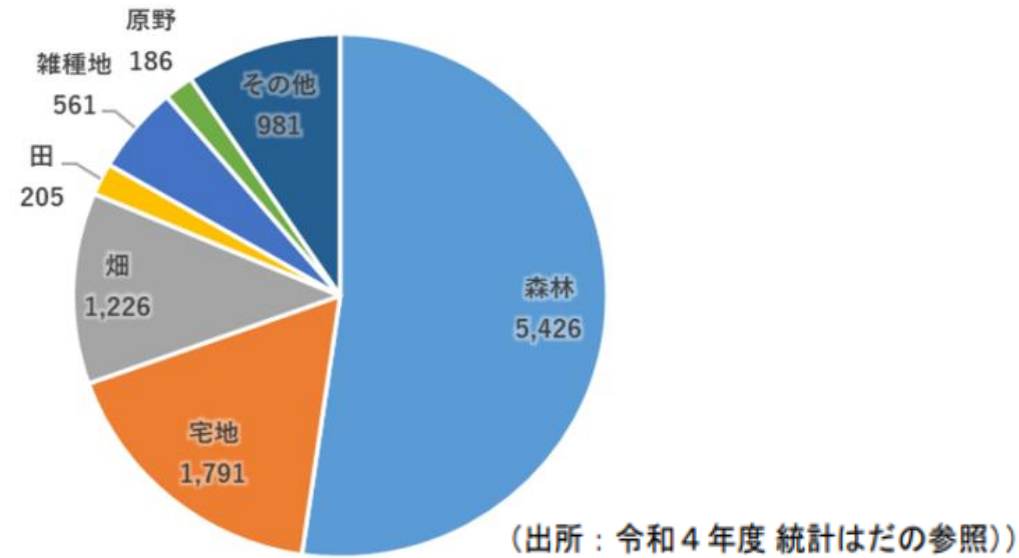
第3項

第4項

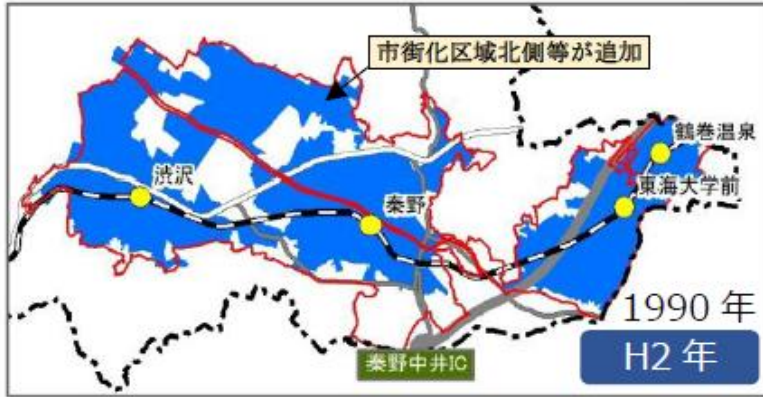
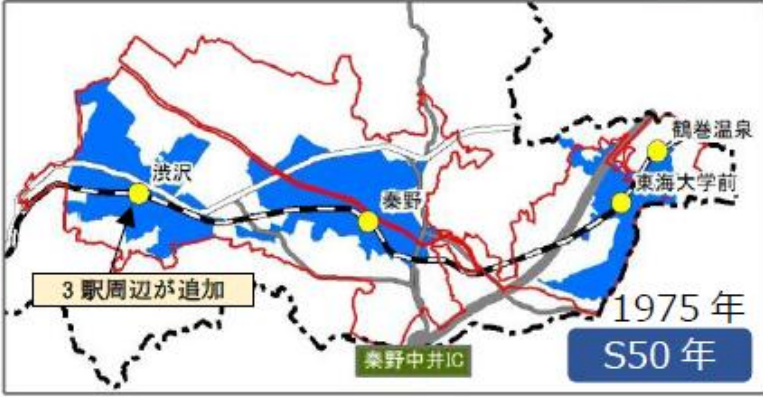
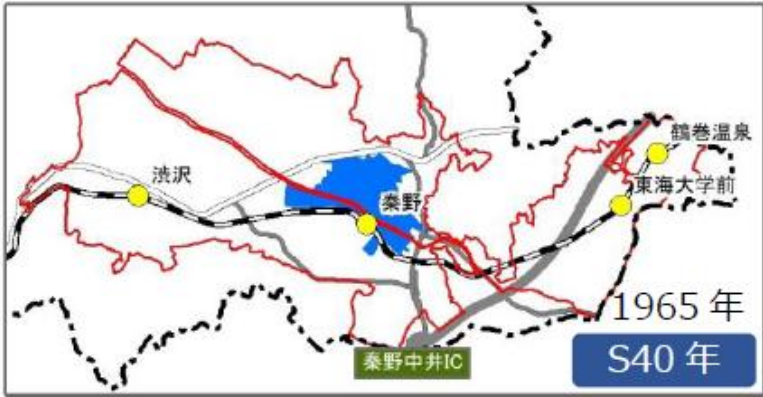


参考: カーボンニュートラル社会を拓く一みなので学び、話し合い、行動するための読本—(一社)環境政策対話研究所 をもとに作成

秦野の地勢と土地利用の区分割合



都市化の推移



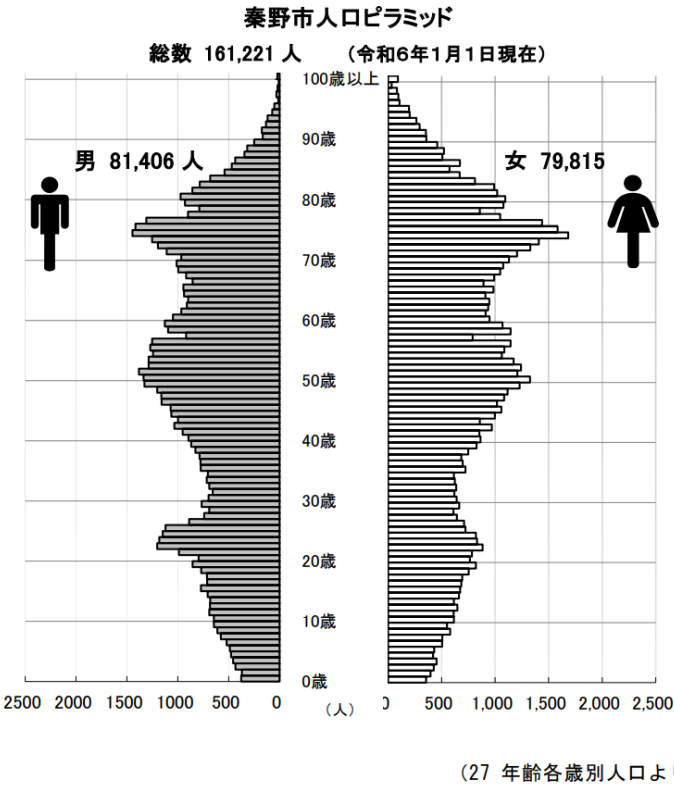
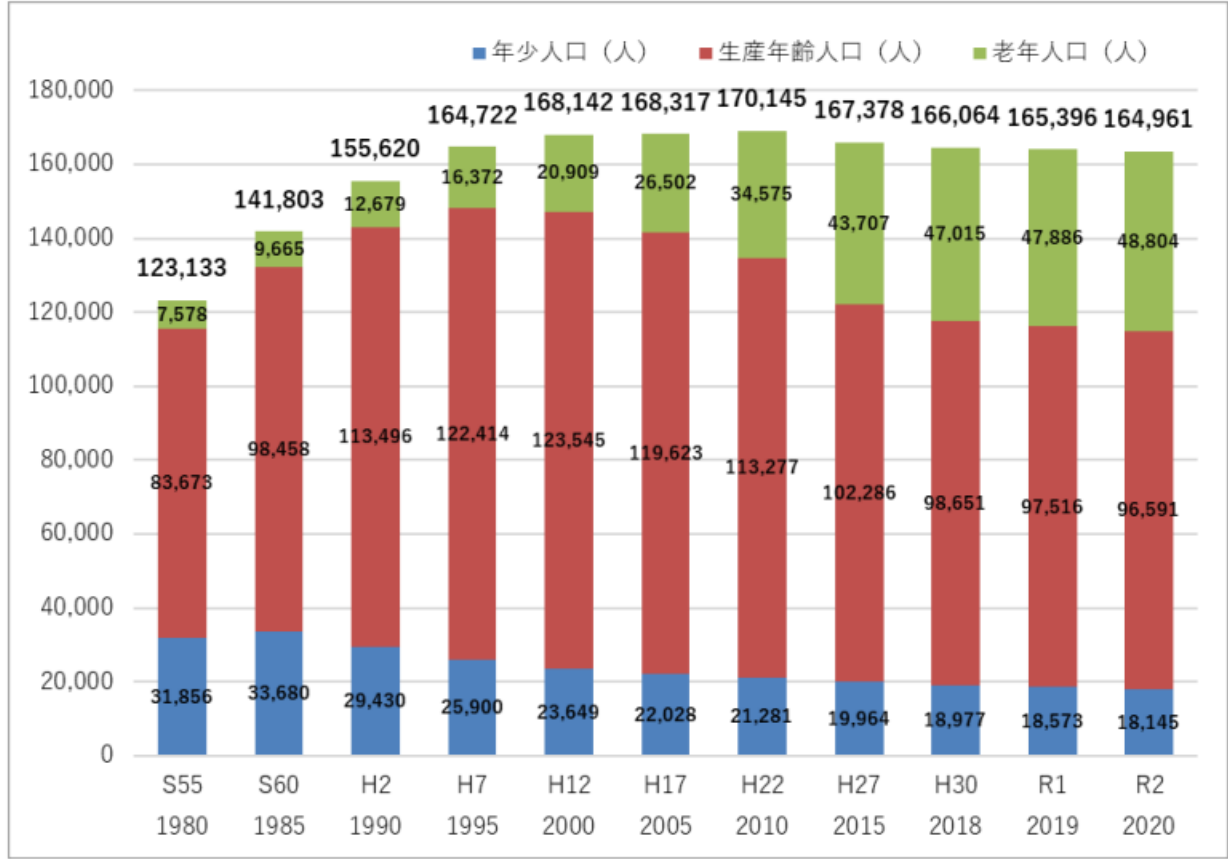
	秦野市	藤沢市	茅ヶ崎市
行政区の面積	39.66 km ²	69.56 km ²	35.70 km ²
人口	160,019人	444,108人	245,524人
世帯数	74,157世帯	203,898世帯	108,123世帯
1世帯あたり人数	2.16人	2.18人	2.27人
人口密度	1,542人/km ²	6,385人/km ²	6,877人/km ²
DID*人口密度	2,316人/km ²	8,879人/km ²	9,871人/km ²

* DID 人口集中地区: 国勢調査の集計の統計地域で、人口密度が4,000人/km²以上かつ合計人口が 5,000人以上となる地域

人口統計

総人口 160, 019人
（男性:80,830, 女性 79,189）
総世帯数 74,157世帯
1世帯あたり 2.16人
（R2国勢調査に基づく2025.8.1推計値）

人口変動::2010年に170,145人でピークを迎え、その後減少傾向
人口減少の要因::出生数の減少と死亡数の増加が主な要因
最近の動向::人口減少傾向ではありますが、若年層やファミリー層を中心に一部地域で転入者が増加する動きも見られる
当初の予測よりも早い人口減少
（2040年には 133,999 人）



2025年度の高齢化率は31.4%
秦野市人口ビジョンでは2040年には39%、2045年には42%
に上昇すると予測

高齢化率 神奈川県 下の状況 2024.1.1	全国	29.2%	藤沢市	24.9	二宮町	36.2
	神奈川県	25.9	茅ヶ崎市	27.2	中井町	38.3
	大磯町	34.9	平塚市	29.2	小田原市	31.2

地域別高齢化率

H27 年 (2015 年)

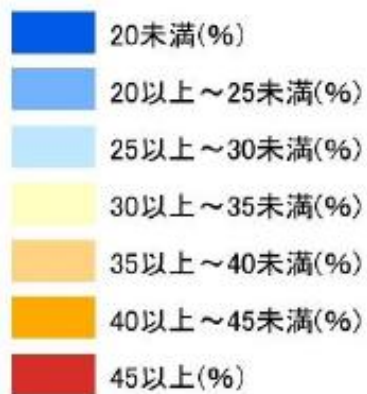
2015年時点で

- ・新規開発が進む山際の地域などでは高齢化率は低い
- ・高齢化率45%を超えていた地域は西側の一部のみ

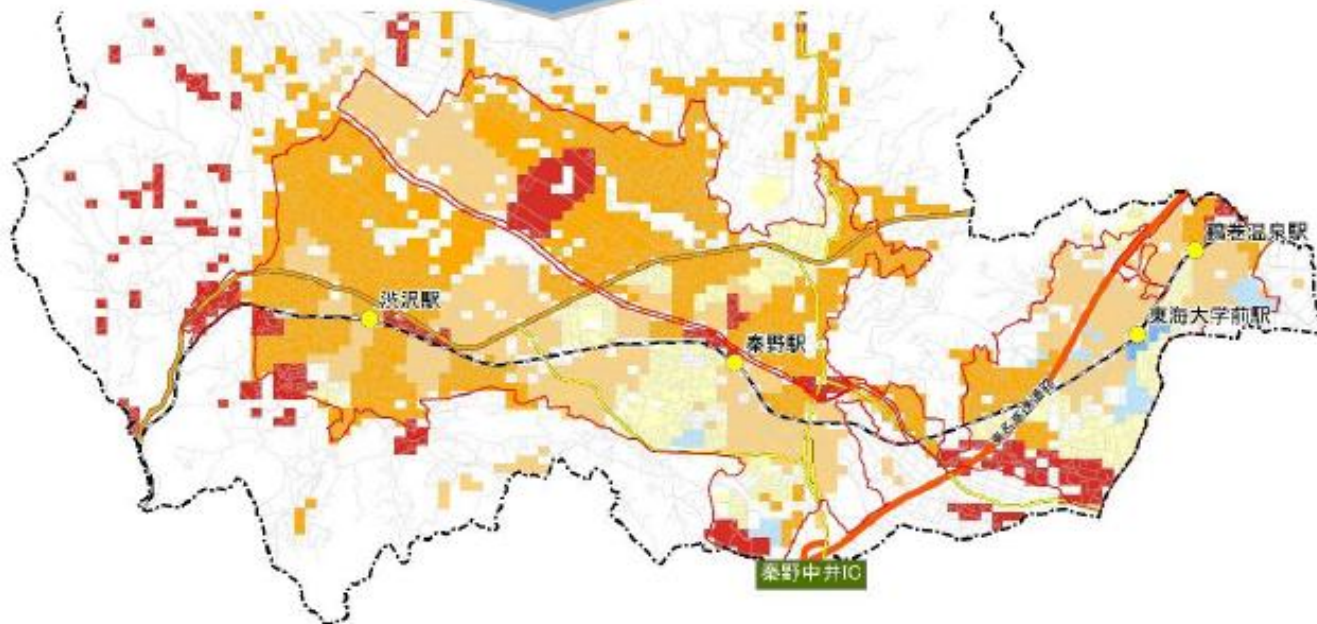
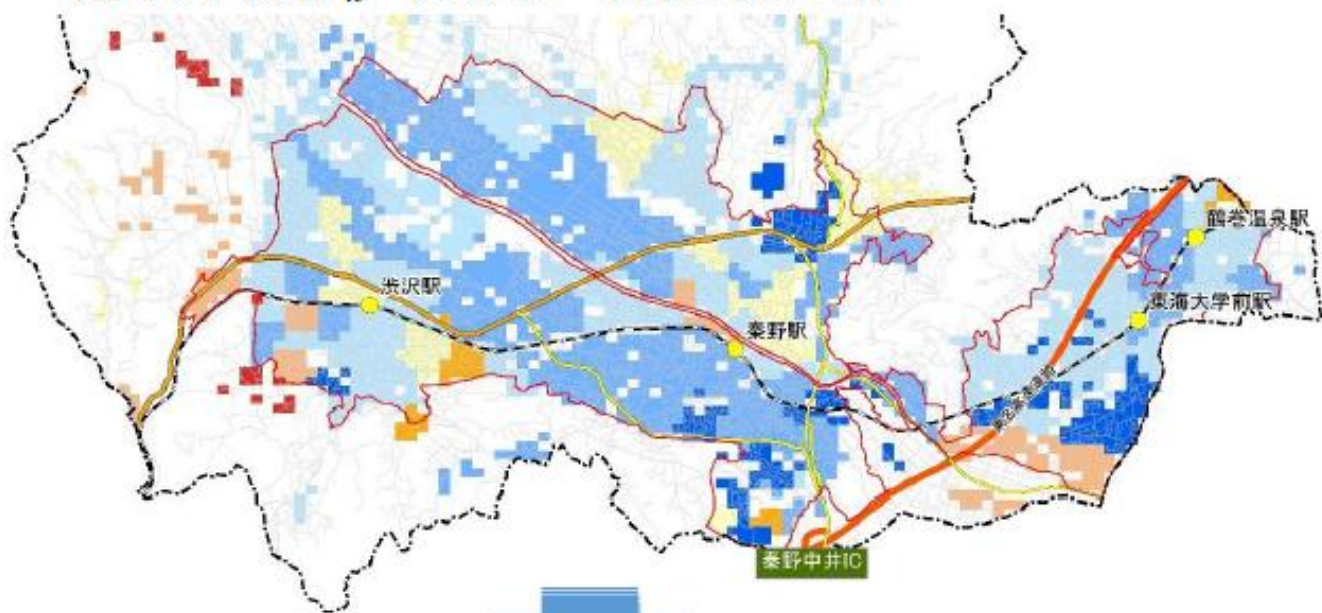
2040年には

- ・市全体で高齢化が進む
- ・特に中心地域や駅近地域でも高齢化が顕著

R22 年 (2040 年)



(老年人口の推移 (100 メートルメッシュ))



出典：G空間情報センター公開データセット：国土技術政策総合研究所「将来人口・世帯予測ツール V2 (H27 国調対応版)」を用いた計算結果を加工して作成

交通網

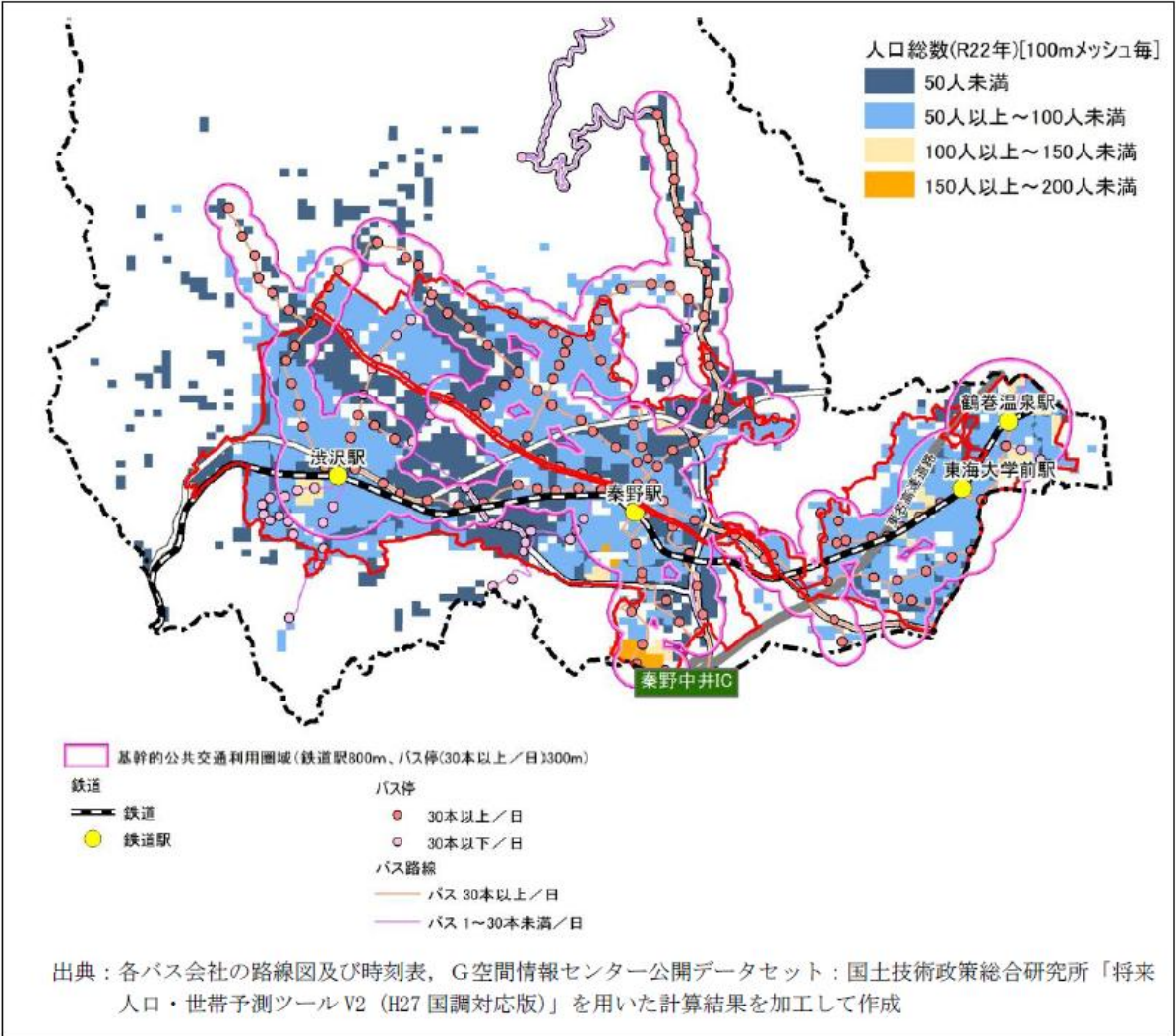
小田急線 4駅
東名・新東名自動車道で首都圏へ直結
国道246号が市街地を突っ切る
厚木秦野道路事業(秦野中井から
新秦野IC、さらに西へつなぐ)



(基幹的公共交通路線 (利便性の高い公共交通路線) の利用圏)

	平成 27 年 (2015 年)		令和 22 年 (2040 年)	
	公共交通全路線	基幹的公共交通	公共交通全路線	基幹的公共交通
市全域	135,267 人 (80.8%)	121,067 人 (72.3%)	107,584 人 (80.3%)	96,627 人 (72.1%)
市街化区域内	121,468 人 (84.7%)	110,611 人 (77.1%)	97,127 人 (84.1%)	88,476 人 (76.7%)

下段カッコは人口カバー率

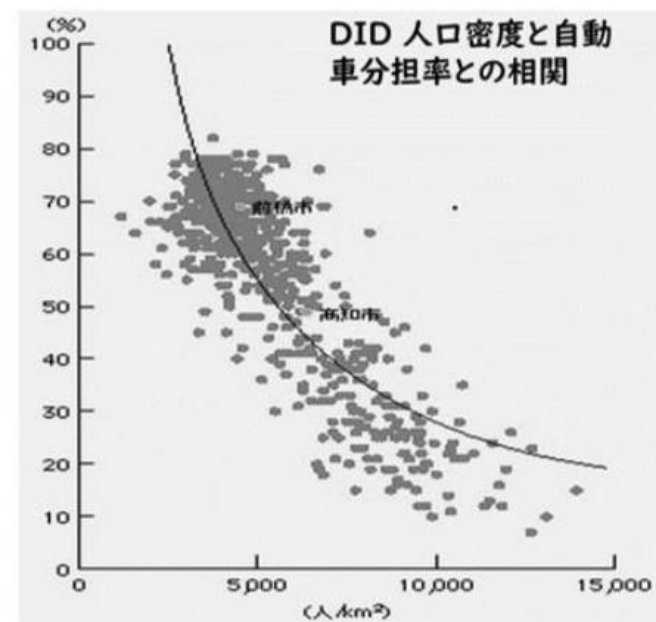
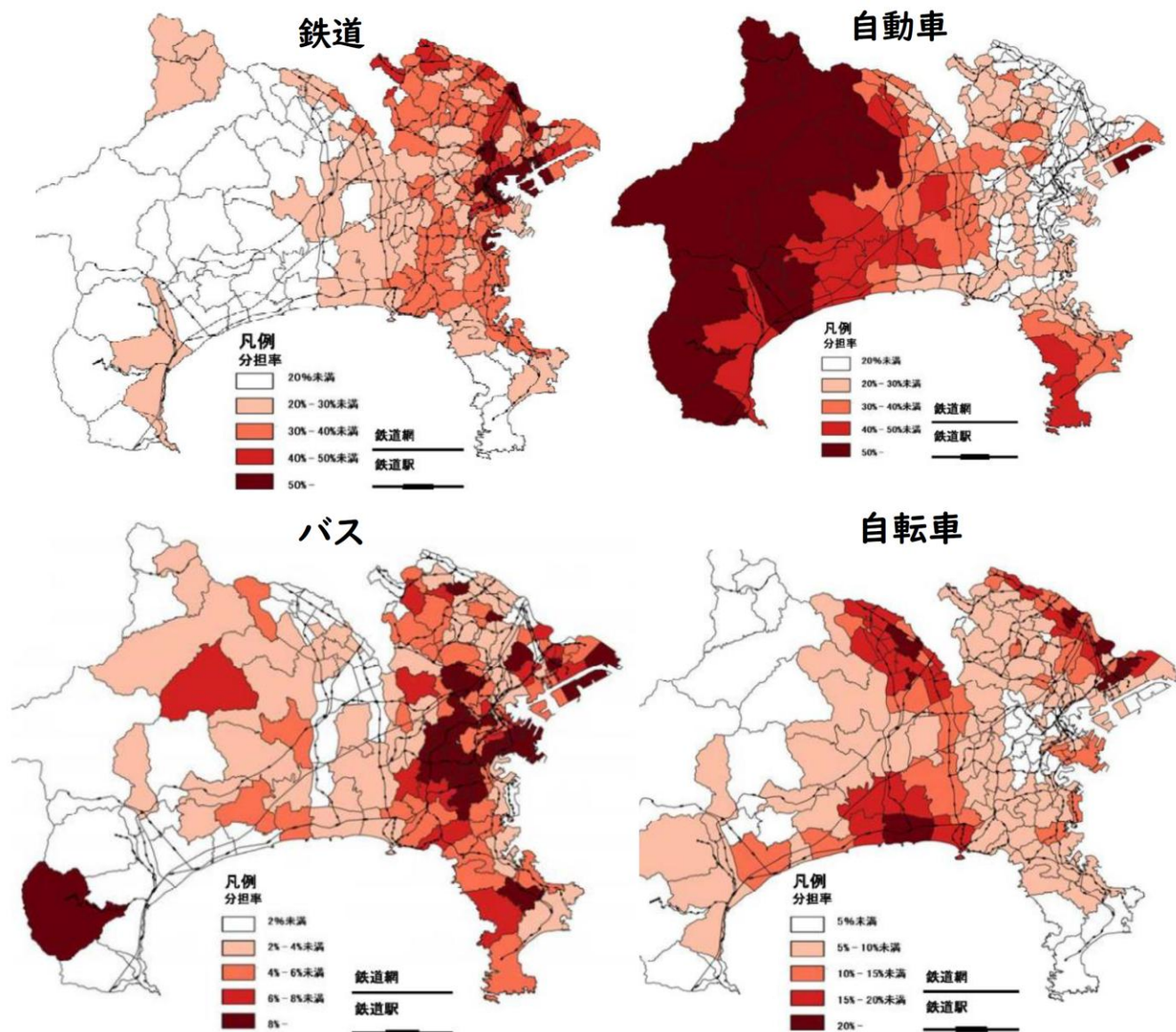


交通分担率 = どの交通手段で移動しているのか

手段選択への影響要因：

- ・ 公共交通インフラの有無
- ・ 地形
- ・ ライフステージ など...

参考：都市の人口密度と1人当たりの乗用車CO₂排出量との関係（出典：平成12年版環境白書）

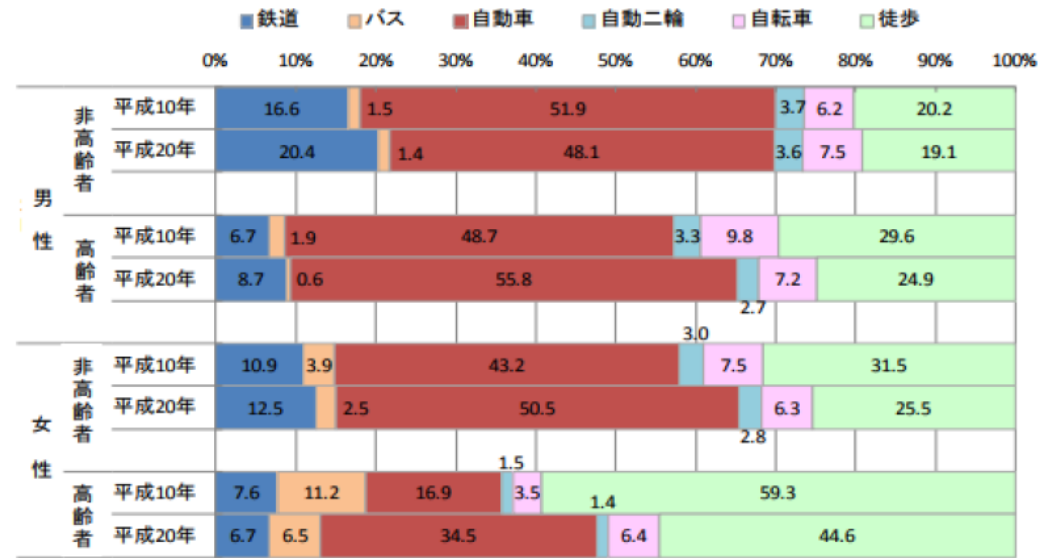


DID人口密度が小さくなれば自動車への依存度が高くなる傾向

➡脱炭素交通の取組みの重要性が増す

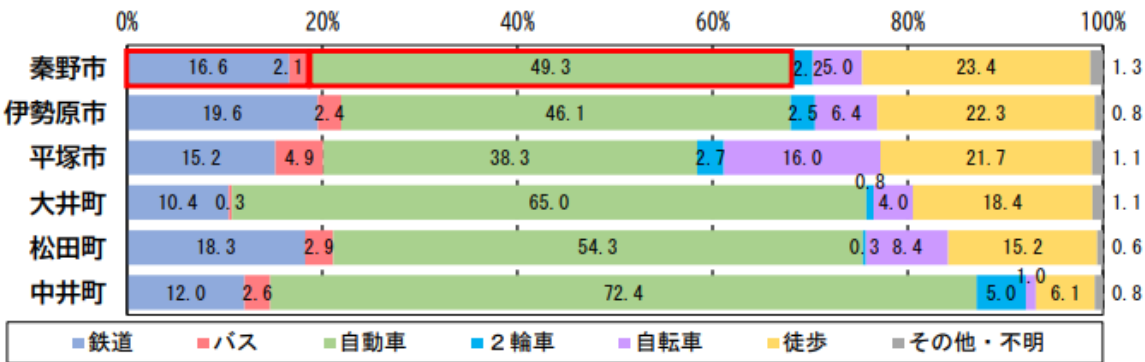
秦野市の交通分担率

(代表交通手段移動分担率)



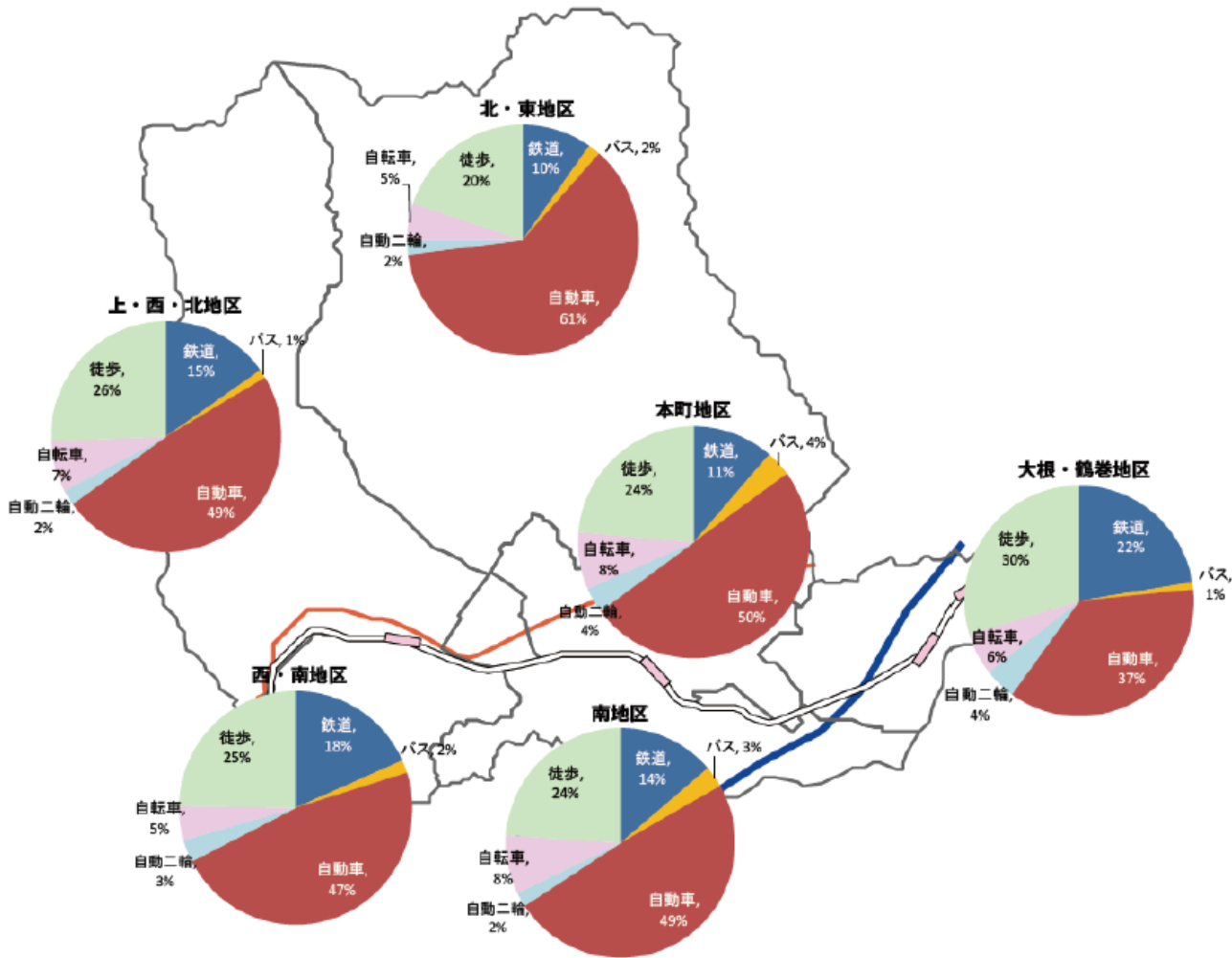
出典：はだの交通計画（平成 28 年、秦野市）、第 5 回東京都市圏パーソントリップ調査（平成 20 年、東京都市圏交通計画協議会）

■代表交通手段別分担率（発生集中交通量）



出典：平成 30 年東京都市圏パーソントリップ調査

(代表交通手段移動分担率)



出典：はだの交通計画（平成 28 年、秦野市）、第 5 回東京都市圏パーソントリップ調査（平成 20 年、東京都市圏交通計画協議会）

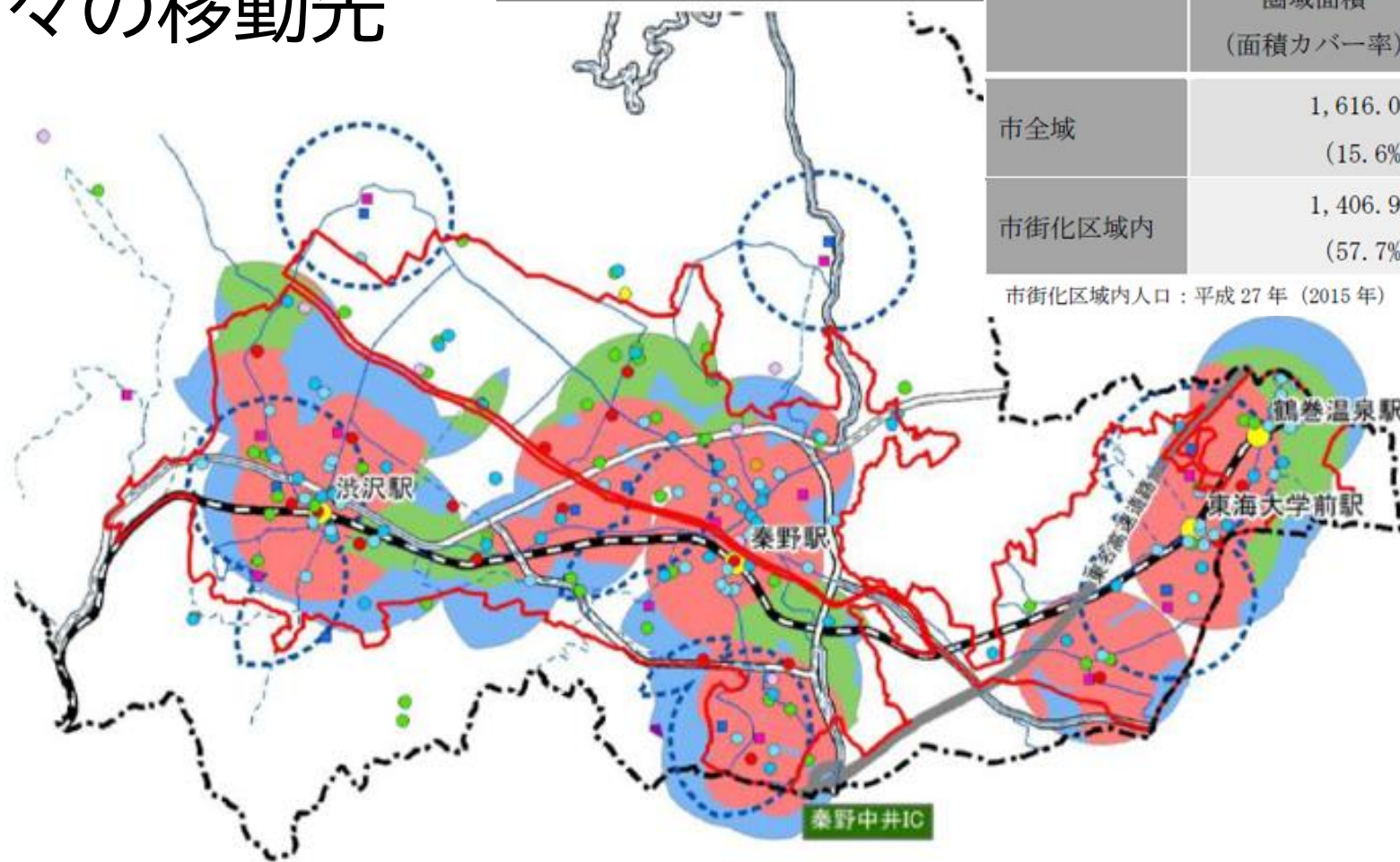
鉄道・バス 18.7%⇔伊勢原市、平塚市と比較してやや低く、
自動車交通 49.3%、自動車依存度が高い
駅まで公共交通が利用 秦野駅 が29.3%と市内4駅では最大
渋沢駅、東海大学前駅及び鶴巻温泉駅は徒歩分担率が高い

日々の移動先

(日常生活サービス利用圏の人口カバー率)

	圏域面積 (面積カバー率)	圏域人口 (人口カバー率)、人口密度	
		平成 27 年 (2015 年)	令和 22 年 (2040 年)
市全域	1,616.0ha (15.6%)	94,939 人 (56.7%) 人口密度: 58.7 人/ha	76,155 人 (56.8%) 人口密度: 47.1 人/ha
市街化区域内	1,406.9ha (57.7%)	92,510 人 (64.5%) 人口密度: 65.8 人/ha	74,165 人 (64.3%) 人口密度: 52.7 人/ha

市街化区域内人口: 平成 27 年 (2015 年) 143,397 人、令和 22 年 (2040 年) 115,426 人 (秦野市推計)



- 日常生活サービス利用圏かつ小・中学校徒歩圏域
- 日常生活サービス利用圏域
- 医療・福祉・商業施設利用圏域
- 医療・商業施設利用圏域
- 小中学校のそれぞれの徒歩圏が重複するエリア

[医療施設(内科・外科)]

- 病院
- 診療所
- 通所系
- 訪問系
- 小規模多機能

[商業施設]

- 総合スーパー・百貨店
- スーパー
- 小学校
- 中学校

[教育施設]

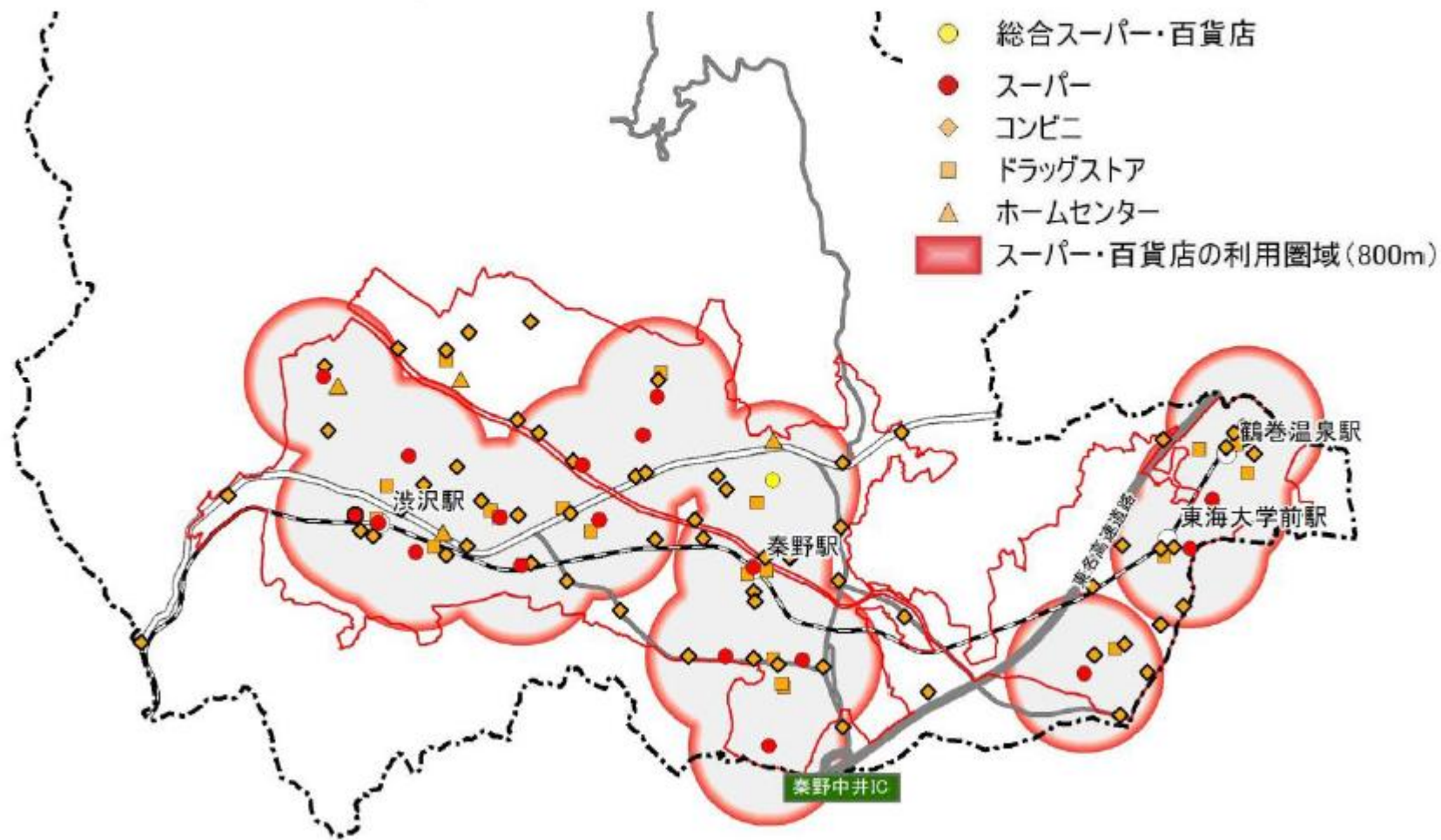
- バス 1~30本未満/日
- バス 30本以上/日
- 行政区域
- 市街化区域

広域の移動

昼夜間人口比率 87.7 (2020)
 ⇨ 2000年からの 20 年間で
 5.6 ポイント上昇も、依然として
 流出超過状況
 通勤・通学では
 東京都 > 厚木市 > 平塚市の順

小売・商業施設の分布

総合スーパー・百貨店は1施設、スーパーマーケットは19施設立地しています。
スーパーマーケットは駅周辺や地域の拠点に立地し、コンビニエンスストアは市内に
広く分布しています。



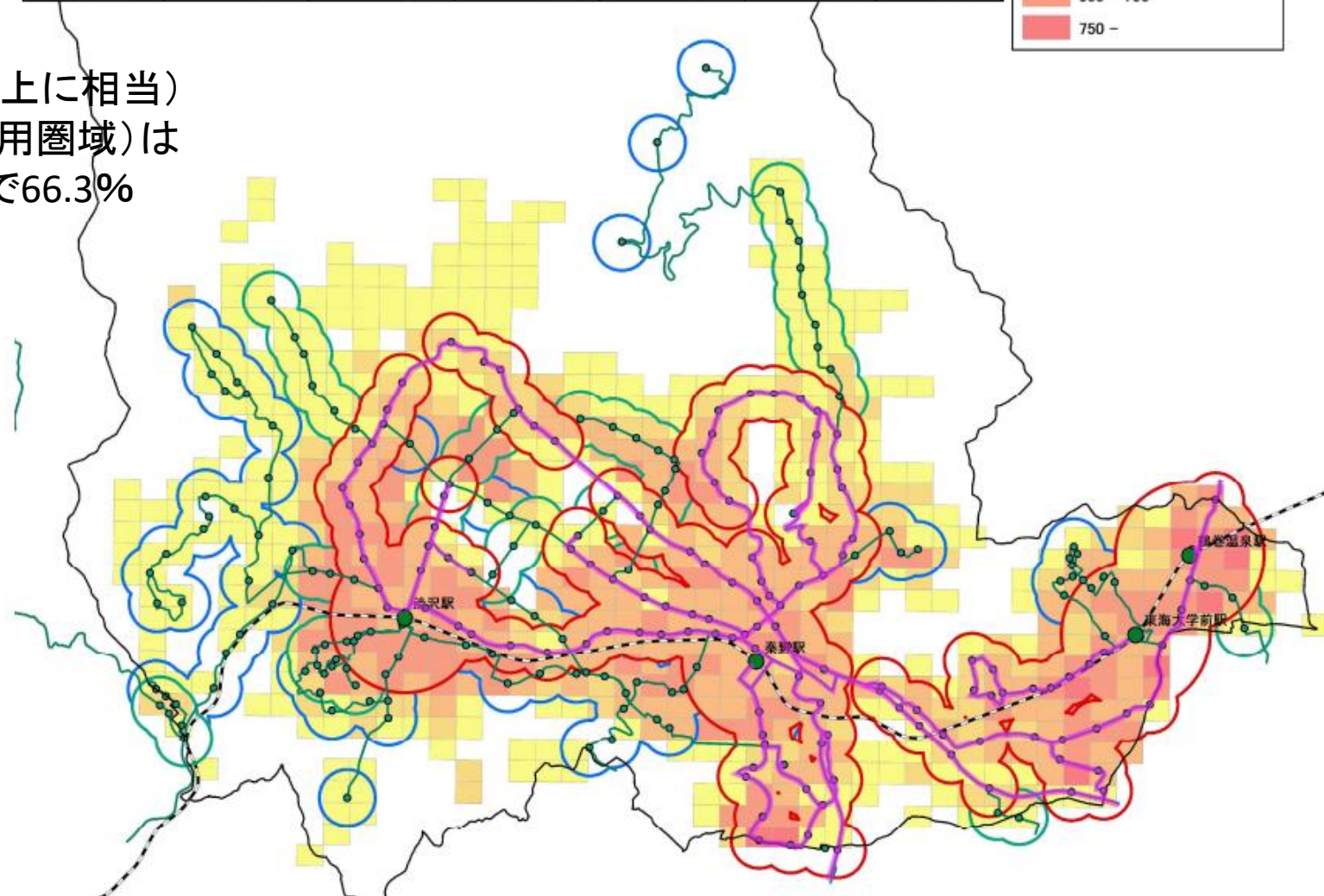
交通空白・不便地域圏

■交通空白・不便地域図 ※人口メッシュは250mメッシュ（単位：人）。令和2年国勢調査

	公共交通利用圏域（駅700m、バス停300m以内の圏域）				公共交通空白地域	合計
	基幹的公共交通利用圏域	その他利用圏域	公共交通不便地域	計		
年少人口	11,593	1,797	2,073	15,463	2,334	17,797
生産年齢人口	62,039	9,059	10,012	81,110	12,115	93,225
老年人口	31,536	5,036	5,499	42,071	6,447	48,518
不詳	2,485	142	97	2,724	175	2,899
計	107,653	16,034	19,312	141,368	21,071	162,439
構成比	66.3%	9.9%	11.9%	87.0%	13.0%	100.0%

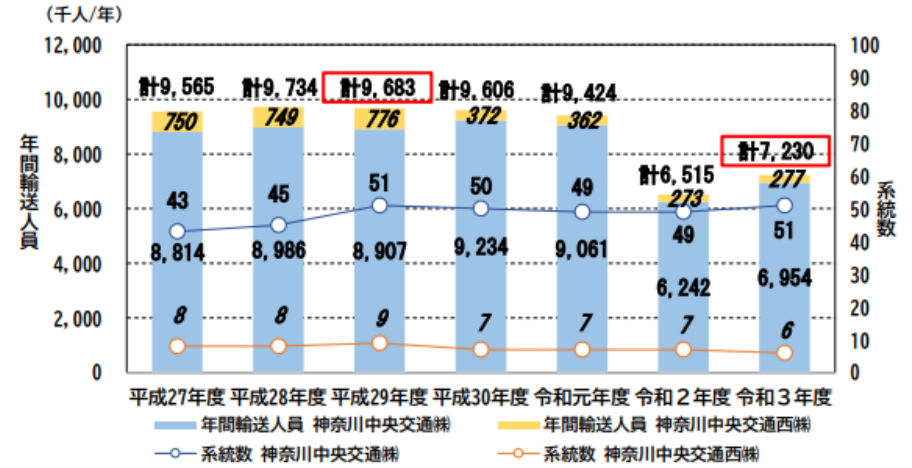


- 1日当り30本以上（概ねピーク時片道3本以上に相当）の運行頻度の高い路線（基幹的公共交通利用圏域）は主に市街化区域内に多く存在、人口ベースで66.3%観光客の足にもなっている
- 公共交通空白・不便地域
需要面や道路条件などから生じている
上地区や西地区、北地区、南地区の一部で11.9%を占める
- 公共交通空白地域
北地区 など13.0%

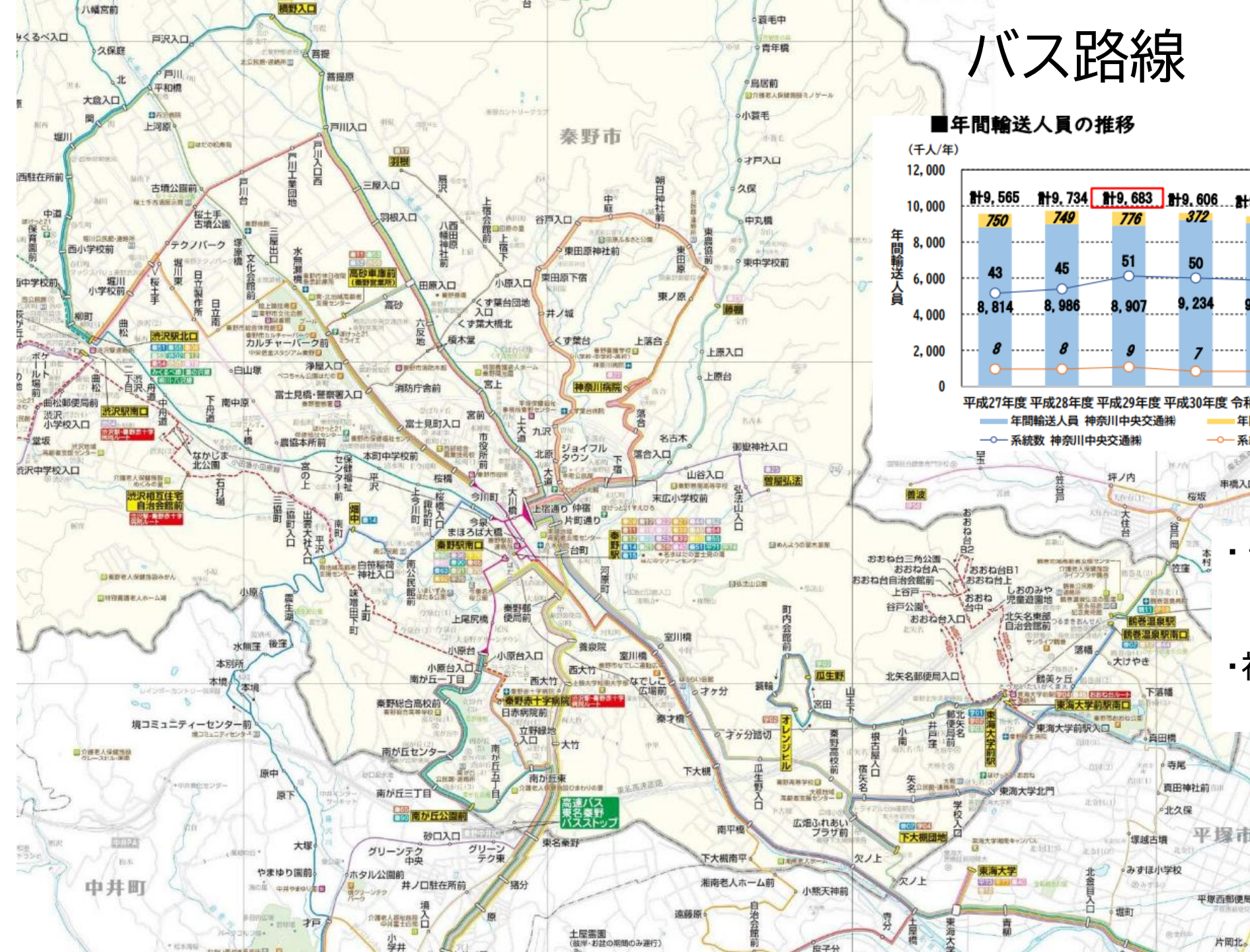


バス路線

■年間輸送人員の推移



- ・ 普通のバスの利用も減っている
➡ なくならないためには乗る！
- ・ 神奈中バスの大きな拠点
➡ 何かコラボ/働きかけできる？



コミュニティ・タクシー



路線固定型乗合タクシー利用状況

年度・月	日数	渋沢駅・秦野赤十字病院ルート				おおね台ルート			
		利用者数	便数	1日平均	1便平均	利用者数	便数	1日平均	1便平均
平成25年度	244日	22,525	6,832	92.3	3.30	17,350	4,880	71.1	3.56
平成26年度	244日	20,344	5,761	83.4	3.53	16,501	4,642	67.6	3.55
平成27年度	243日	17,277	4,617	71.1	3.74	16,630	4,374	68.4	3.80
平成28年度	243日	16,450	4,617	67.7	3.56	16,154	4,374	66.5	3.69
平成29年度	244日	16,349	4,636	67.0	3.53	17,068	4,392	70.0	3.89
平成30年度	244日	15,927	4,636	65.3	3.44	17,682	4,392	72.5	4.03
令和元年度	240日	15,423	4,560	64.3	3.38	16,654	4,320	69.4	3.86
令和2年度	243日	10,453	4,617	43.0	2.26	13,619	4,374	56.1	3.11
令和3年度	242日	11,726	4,598	48.5	2.55	14,166	4,356	58.5	3.25
令和4年度	243日	12,738	4,617	52.4	2.76	15,304	4,374	63.0	3.50
令和5年度	243日	13,965	4,617	57.5	3.02	16,135	4,374	66.4	3.69
合計	243日	13,791	4,617	56.8	2.99	15,628	4,374	64.3	3.57
合計	84日	5,312	1,596	63.2	3.33	5,679	1,512	67.6	3.76

注)平成26年10月にダイヤ変更(1日2ルート合わせて48便から37便に削減)
注)平成29年7月からおおね台ルートに14人乗り車両(乗客定員13人)を導入

市内にある交通空白・不便地域や不採算バス路線対策等の課題への対応として、平成19年度に秦野市地域公共交通会議を設置し、運行基本計画を策定。新たな地域公共交通の導入の必要性が高い2つの区域において、ワゴン型の車両により運行している。 いずれも平日のみ運行

- 渋沢駅・秦野赤十字病院ルート
運賃: 大人200円・250円・300円(小児一律100円)
- おおね台ルート
運賃: 大人200円(小児一律100円)
- 上地区「行け行けぼくらのかみちゃん号」
- 渋沢駅から栢窪・渋沢区域への登録制

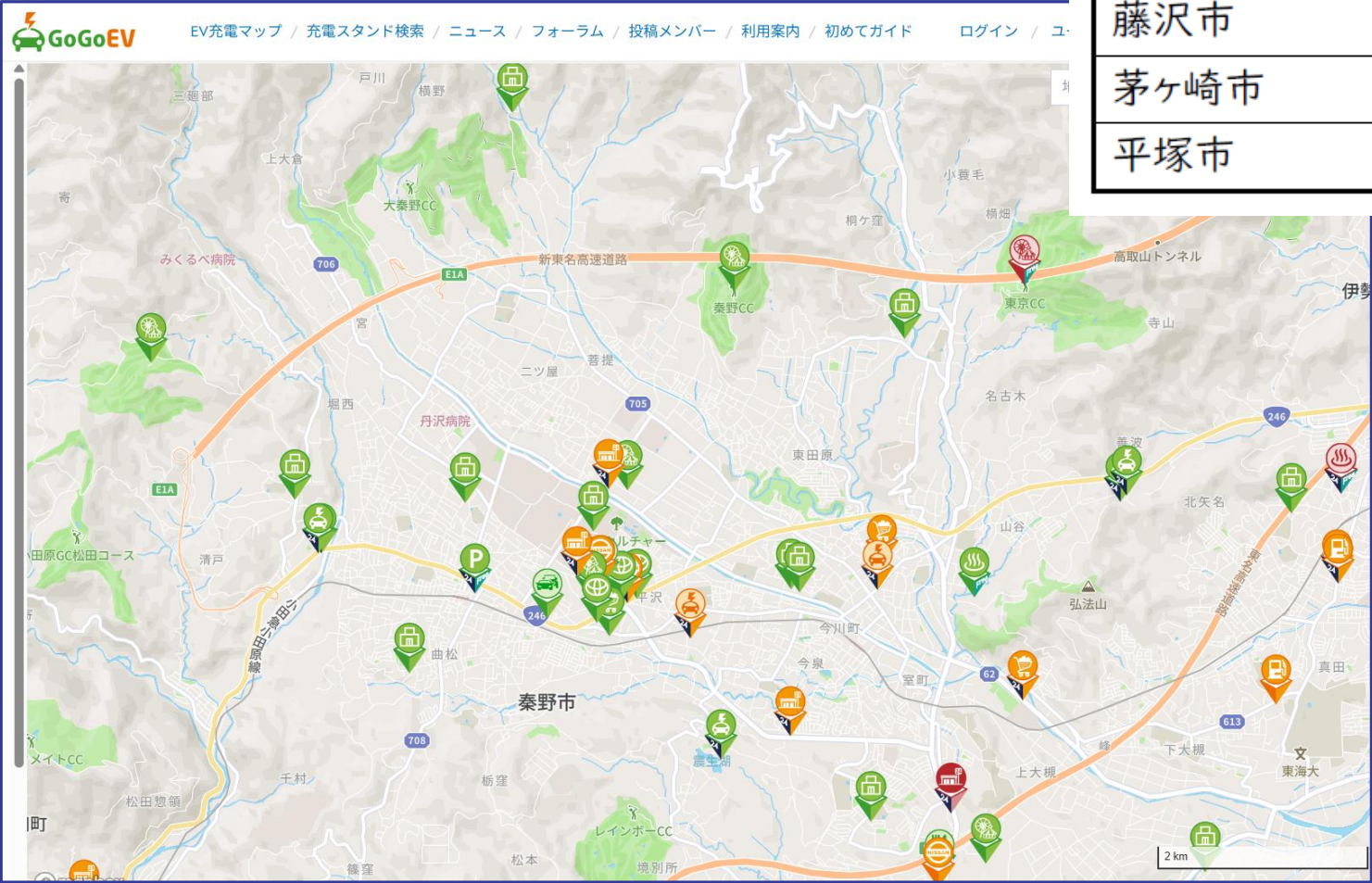
デマンド型タクシーもある

目標は便数維持！

地域の皆様の利用で、コミュニティタクシーを乗り支えましょう！

カーシェア拠点・EV充電拠点

EV充電マップ



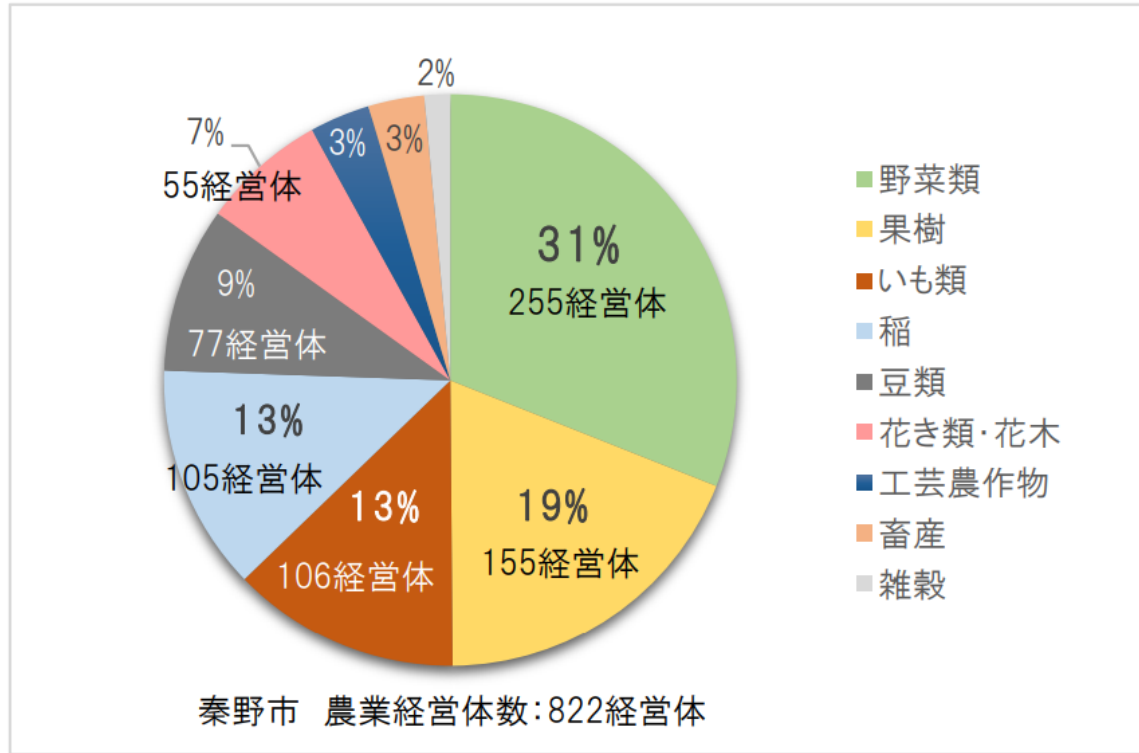
人口当たりの自動車と登録台数1000人当たり

自治体名	台数	大磯町	359.5
神奈川県	293.7	二宮町	336.2
秦野市	335.3	中井町	563.3
藤沢市	301.0	小田原市	367.1
茅ヶ崎市	292.4	清川村	664.7(県下最大)
平塚市	369.2	川崎市	283.3(県下最少)

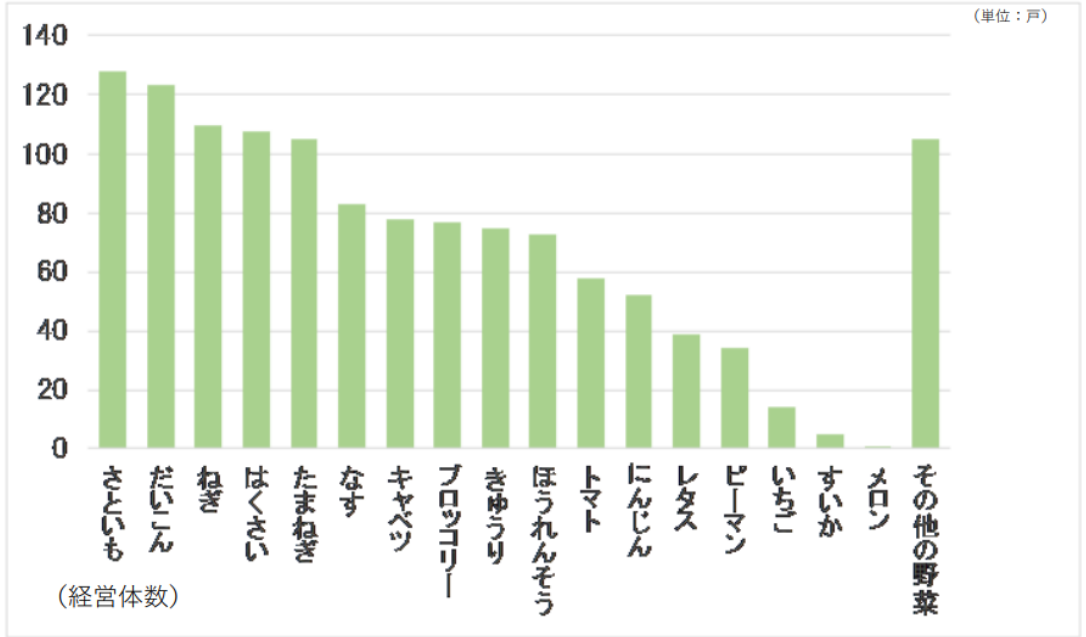
その他、
・タイムズカーシェア、
・オリックスレンタカー(シェア)
拠点も駅周辺を中心にあり

農業

農業産出額(推計)：243千万円



(出典：令和3年度 農林業センサスデータベース「わがマチ・わがムラ」)



(出典：令和3年度 農林業センサスデータベース「わがマチ・わがムラ」)

課題は農の担い手確保 -

- ・新規就農者 2020年度 84人
- ➡ 2023年度 104人、さらに増やしていくには？
- ・市民農園の活用
- ・観光農業の推進



地産地消の観点から

給食地産地消率 30% !
地元の食材を集中的に給食に供給
⇒地域愛にもつながる

【湘南地域周辺地域の農・漁業】



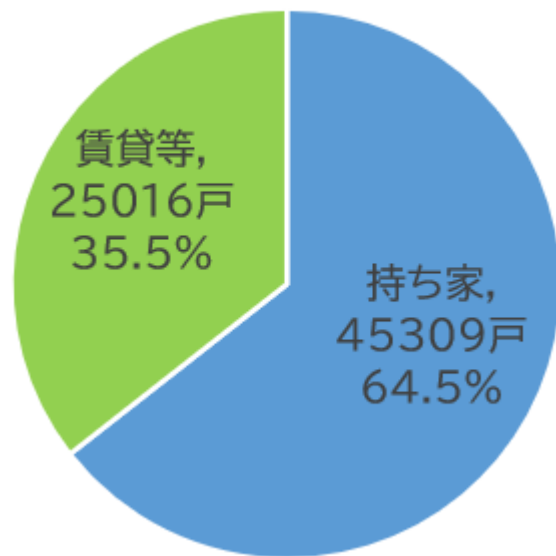
⇒「地域」を少し広くとらえてみる。
まずは 地のもの → 周辺自治体 → 県内
そのあとに 国内 での地産地消を
と考えると、選択肢も増え 安定性も向上する。

住まいと建築物

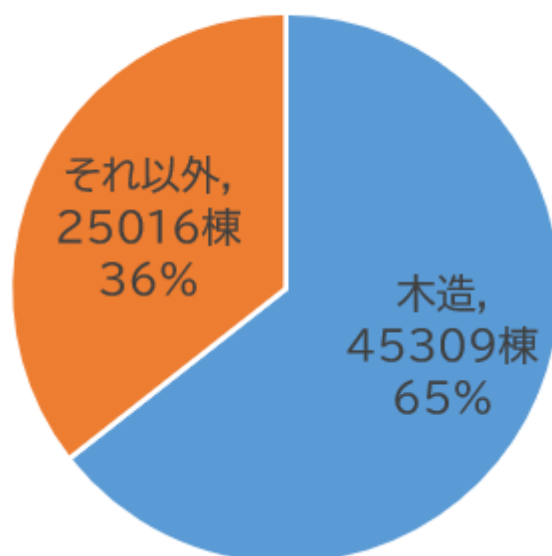
総住宅戸数：70,325棟

(2024年、秦野市の統計)

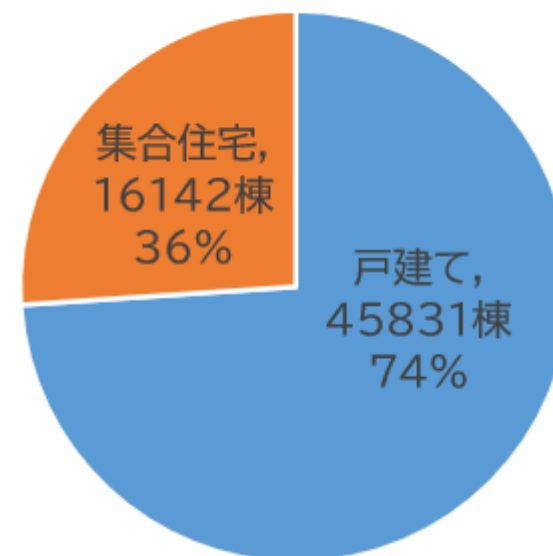
所有形態(戸数)



構造(棟数)



建築形態(棟数)



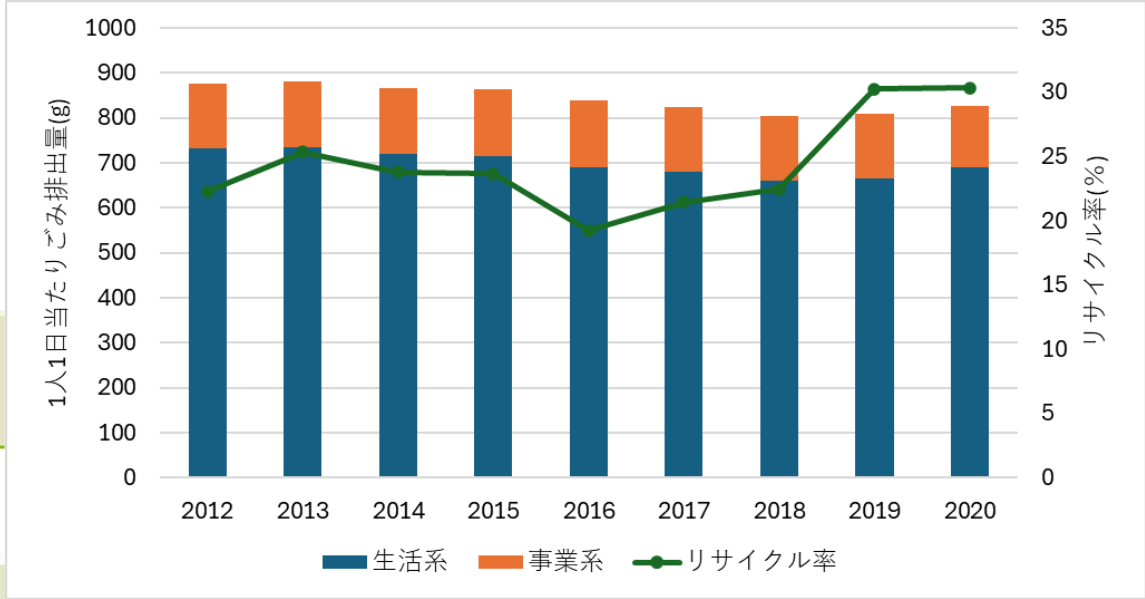
- ・ **持ち家率**：64% (↔ 藤沢市 60%, 平塚市 79%, 神奈川県 54%)
- ・ 共同住宅よりも**戸建てが多い** (74%)
- ・ **一軒の面積が広い**：住宅専用建物で平均116m² (↔ 藤沢81m², 大和 77m²)
- ・ 毎年の新築数 500～600件、圧倒的に戸建て建築が多い

耐震性, 断熱/省エネ性, ZEH等, 防災や脱炭素の観点から

更新時期がチャンス！

ごみの排出量と削減の取り組み

ごみ総量は 2012年 52,862トン から
2020年 49014トンに（7%減）



生ごみ持ち寄り農園ははじめませんか？

問い合わせ番号：15192-6139-6119 登録日：2022年8月4日

生ごみリサイクルの環を作ろう！

秦野市では、家庭で出た生ごみを市民自ら農地に持ち込んでコンポストで堆肥化し、作物を作って収穫までを行う、生ごみ持ち寄り農園の取り組みを実施しています。

ご利用は事前登録制です。希望する方は環境資源対策課（0463-82-4401）までご連絡ください。

市内の生ごみ持ち寄り農園

生ごみ持ち寄り農園に生ごみを持ち寄って、堆肥作りや野菜作りに取り組んでみたいという方を募集しています。

⇒ 登録してみる?!

生ごみ持ち寄り農園（鶴巻）

令和元年6月開設 鶴巻1011番1



生ごみ持ち寄り農園（戸川）

令和2年12月開設 戸川427番1



⇒ 自宅でコンポスト
ト始めてみる?!
※補助制度あり！

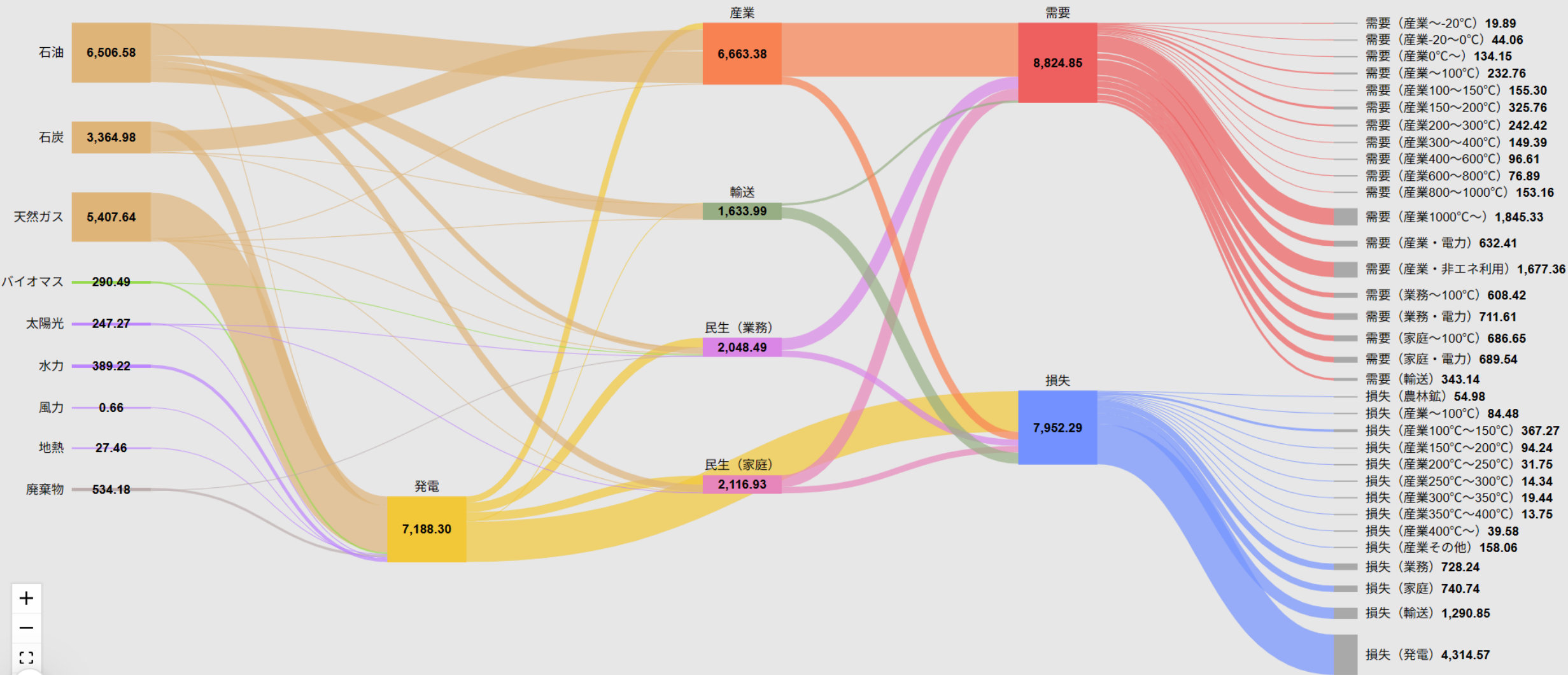


写真：キエーロ

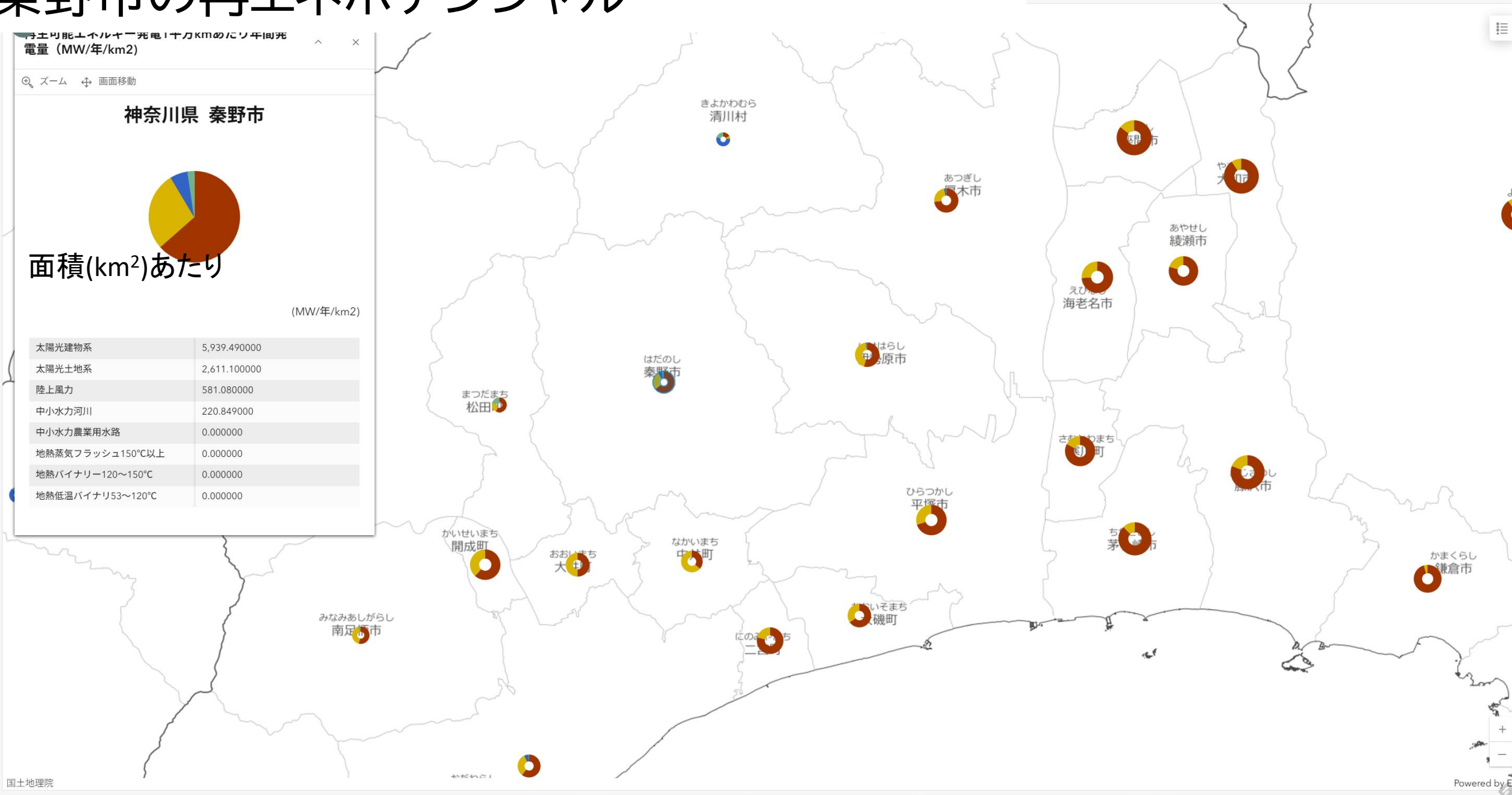


秦野市のエネルギーフロー

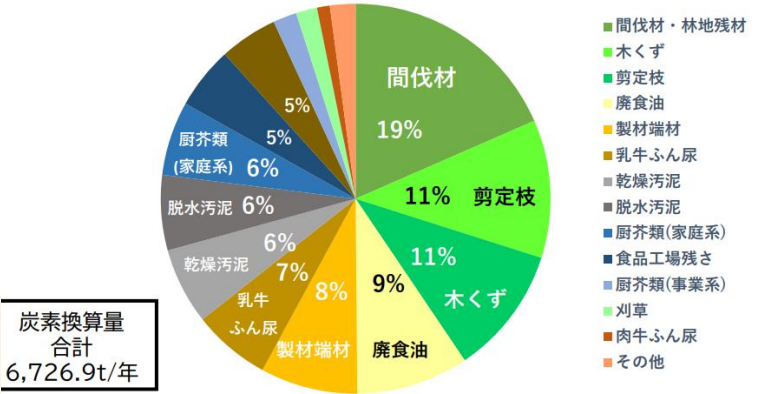
表示単位：TJ（テラジュール）



秦野市の再エネポテンシャル



秦野の地域資源：森林



2025年2月に関東圏で初の採択
「多品種少量の都市近郊型」バ
イオマス産業都市

秦野の 地域資源

Topics : 「秦野の名水」

本市の豊富な地下水は、地下水盆と呼ばれる地下構造によって、「天然の水がめ」として古くから住民に恵沢を与えるとともに、明治 23 年(1890 年)に給水が開始された水道の水源にも使用されています。

また、昭和 60 年(1985 年)には、「秦野盆地湧水群」として名水百選に認定され、さらに、平成 27 年(2015 年)には、この名水百選選定 30 周年を記念して行われた国民投票（全国 200 か所（191 市町村）のうち、名水の地より立候補した名水が対象）である「名水百選」選抜総選挙では、“おいしさが素晴らしい名水部門”において、ボトルドウォーター「おいしい秦野の水～丹沢の雫～」が堂々の第一位を獲得しています。



観光資源

OMOTAN としての観光拠点

⇒観光客はコロナ禍を経て、回復傾向
地域経済に重要！もっと生かしたい！

だが、おいていくものは経済効果だけ
ではない...

・ごみ？

観光客によるほい捨て
事業系を含むごみ総量の増加

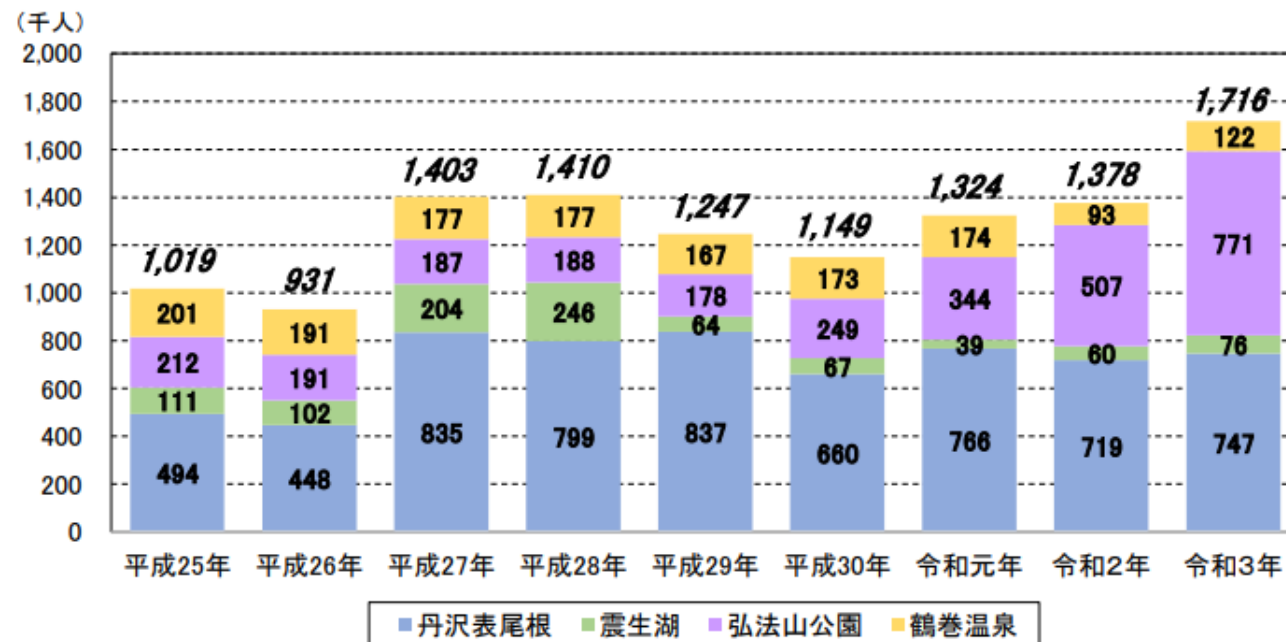
・交通渋滞？

ハイカーは電車＆バス利用？
キャンプや釣りは？

・交通量増加によるCO2排出増？
局所的な大気汚染？
生活への影響は？

観光資源を生かしつつ 脱炭素策も実現する 打開策は...？

■観光地別観光客数の推移



出典：令和4年度版統計はだの



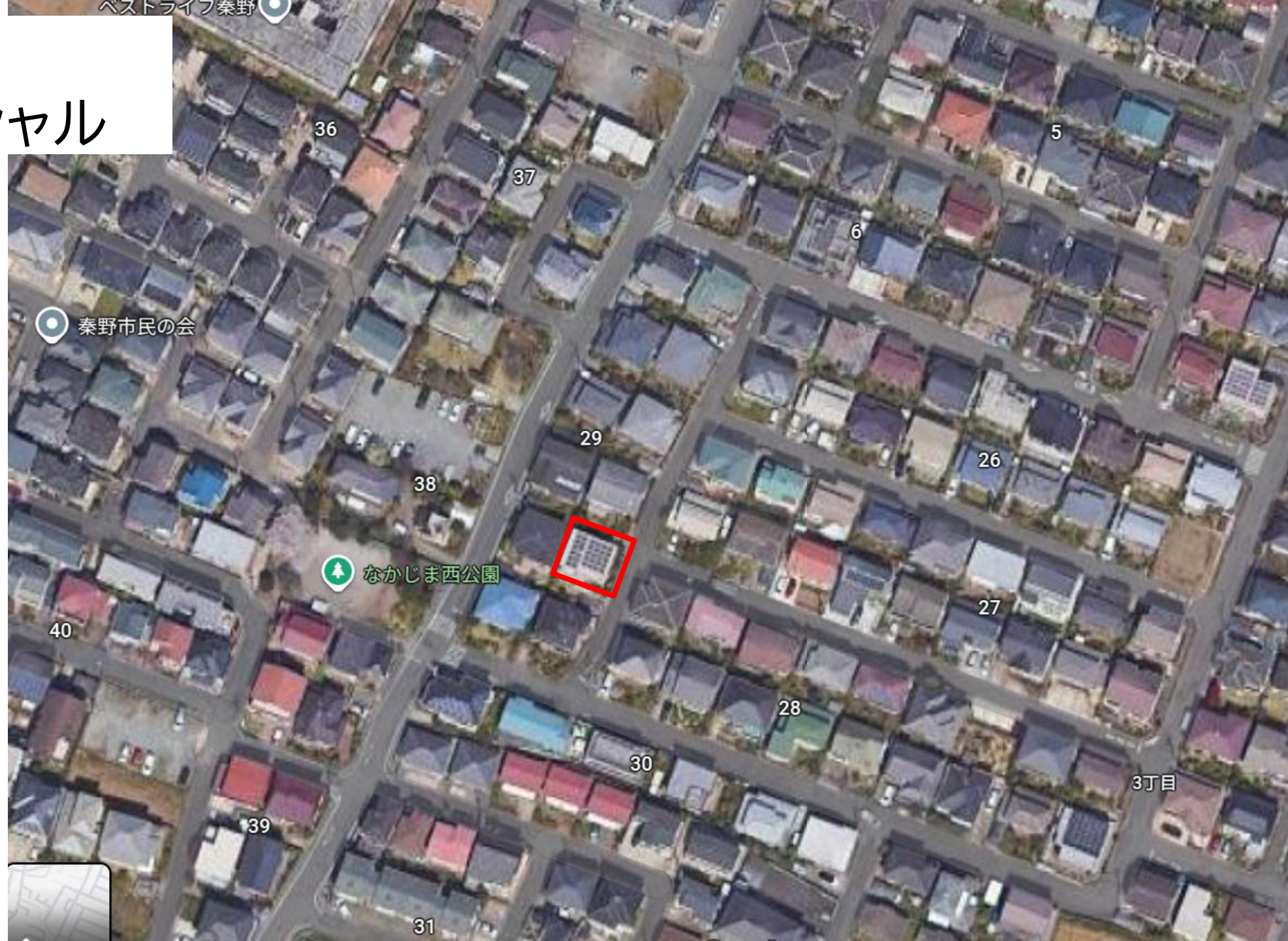
鶴巻温泉 弘法の里湯



丹沢表尾根の登山コース

秦野市の 再エネポテンシャル

渋沢駅 南側



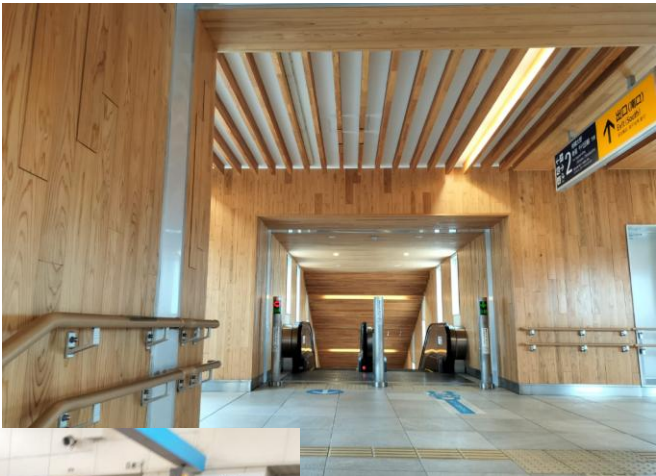
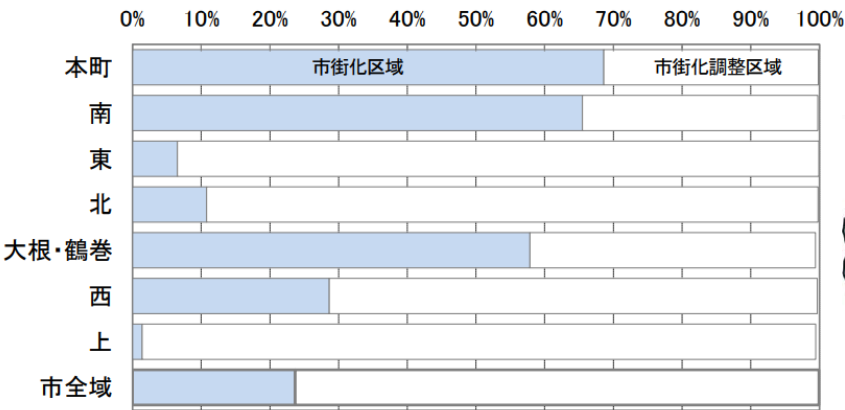
秦野市の 再エネポテンシ

市役所の北側



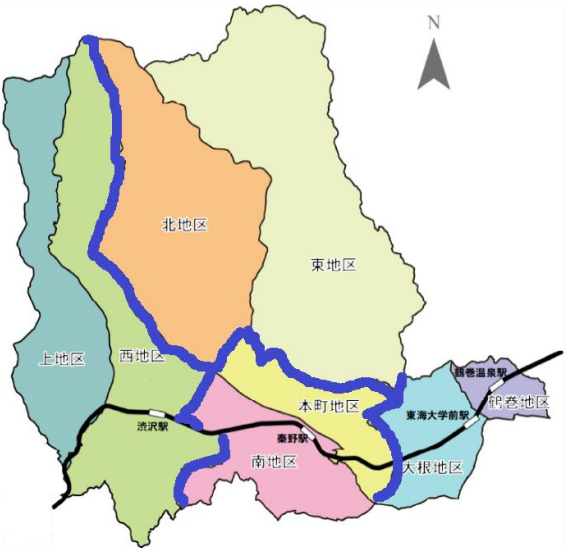
秦野市内の地域特性

地区別都市計画区域割合



総合計画の中で挙がっている地域別の目指す姿と課題

地区	目指す地域の姿
本町	活力とふれあいに満ちた、きれいで安全な暮らしよいまち
南	豊かな水と緑に囲まれ、心豊かなふれあいもある素晴らしい環境で大人～若者～こどもがつながる住んでみたいと思うまち
東	豊かな自然環境の中で、歴史や文化が調和した住みよいまち
北	豊かで美しい自然と共生し、地域の活力があるまち
大根	安全・安心・清々しいやさしいまち
鶴巻	温泉と緑と眺めを楽しめる、人にやさしいにぎわいのある住みやすいまち
西	① 豊かな自然環境を維持・活用し、四季を感じることができる美しい町並みと機能性のあるまち ② ふれあいのある、安全・安心で元気とにぎわいのあるまち
上	豊かな自然と交通環境が調和し、こどもから大人まで地域ぐるみの交流が盛んな魅力と活力あるまち



第1回で考えた未来の秦野の姿との類似は？
脱炭素策とのつながりで実現するには...？

データについて

本データの多くは政府や自治体のオープンデータによって作成しました。将来推計には複雑な前提条件等がありますが、この資料では触れていません。前提条件等について確認したい場合は出典をたどってください。

秦野市役所のホームページでは、本資料でご紹介したような土地利用や人口統計、世帯の情報など地区ごとの情報が掲載されています。

未来カルテは、研究プロジェクト「オポッサム (OPoSuM-DS/OPoSSuM)」(研究代表者: 千葉大学倉阪秀史) の成果物です。REPOSは、環境省による再生可能エネルギー情報提供システムです。RE-CODEはCo-JUNKAN研究プラットフォームの情報基盤システムです。



<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/shisei/toukei/index.html>



<https://www.e-stat.go.jp/>